

日清食品カップ 第35回全国小学生陸上競技交流大会富山県大会要項

- 1 主催 (公財) 日本陸上競技連盟 (一財) 富山陸上競技協会
- 2 後援 富山県教育委員会 (公財) 富山県体育協会 富山県スポーツ少年団
公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団 北日本新聞社
- 3 主管 (一財) 富山陸上競技協会
- 4 協賛 日清食品ホールディングス株式会社
- 5 協力 株式会社アシックス 株式会社ニシ・スポーツ ミズノ株式会社
株式会社ゴールドウィン 奥アンツーカー株式会社 高岡整志会病院
- 6 場所 富山県総合運動公園 富山県陸上競技場 (富山市南中田 368 TEL 076-429-8835)
- 7 期日 令和元年6月30日(日) 受付 8:00~8:30 開始式 9:00 競技開始 9:30
- 8 種目及び参加人数 各郡市は下表を1枠としてその範囲以内で選手団を編成する。
(なお、富山市は4枠、高岡市は2枠、射水市は2枠で選手団を編成する。ただし、
総監督は1名とする。)

種別	種目	選手	指導者	備考
リレー	男女混合4×100mR	男女3名×4チーム (24名)	4名	優勝チームは全国大会
	男女友好レース	男女各1名		リレーの控え選手による100m走
単独種目	男子 5年100m 女子 5年100m 男子 6年100m 女子 6年100m	各4名(16名)	4名	優勝者は全国大会
混成種目	男子コンバインドA (80mH・走高跳) 女子コンバインドA (80mH・走高跳) 男子コンバインドB (走幅跳・ジャバリックボール投) 女子コンバインドB (走幅跳・ジャバリックボール投)	各4名(16名)	4名	優勝者は全国大会
単独種目	男子 1000m 女子 1000m	各2名(4名)	2名	県大会まで
		60名	14名	
			1名	(総監督)
選手団合計				75名

9 参加資格並びに条件

- (1) 選手は、小学校5・6年生の年齢に該当する児童。小学5年生種目への出場者は平成20年(2008年)4月2日~平成21年(2009年)4月1日の間に生まれた者とする。小学6年生種目への出場者は平成19年(2007年)4月2日~平成20年(2008年)4月1日の間に生まれた者とする。
- (2) 指導者とは出場するリレーチーム及び単独種目、混成種目のそれぞれの指導者。
- (3) 総監督とは各郡市陸上競技協会が指名する登記登録者。
- (4) 男女混合リレーの編成は、各郡市予選会を通過したチームとする。
(全国大会は6名でのエントリーで郡市予選会後の追加エントリーはできません。予選会プログラムを提出すること。)
- (5) チーム名に小学校を使用してもよい。コンピューター入力上、全角は6文字まで、半角は12文字以内とする。(富山小学校、富山クラブ、富山AC、トヤマジュニアなど)
- (6) 出場制限 1人1種目とし、種目を重複して出場することはできない。

10 競技規則

平成31年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに大会規定に準じて行うが、児童の年齢段階

を考慮して、特に教育的配慮のもとに競技を進行する。

11 競技上の注意事項

(1) 全般

- ①競技に際してはスパイク（スパイクピンは、オールウェザー用9ミリ以下のピン使用）又はシューズを使用すること。
- ②ナンバーカードは、支給されたままの大きさをユニホームの胸と背につける。腰のナンバーカードは写真判定のため右腰のやや後方につけること。
- ③競技者の集合場所は第2ゲートとする。集合場所には、競技に出られる服装でナンバーカードをつけて集合すること。集合時刻に集合場所にいない場合は棄権として処理する。

(2) トラック競技

- ①スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。
- ②スターティングブロックを使用する場合は、競技場備え付けのものを使用すること。
- ③スタートで同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格とする。ただし、失格となった競技者はオープンとして引き続きレースに参加させる。（順位には含めない。）
- ④トラック競技決勝進出者の決定に際して同記録者があった場合は、規則第167条により処理する。
- ⑤スタートのコールはイングリッシュコールとする。（リレーも同じ）

(3) リレー競技

- ①予選のオーダー及び友好レース（控え選手の100m走）の出場競技者名を所定の用紙に記入し、9時までに郡市受付へ提出すること。
- ②決勝のオーダーは、予選のオーダーと同一とする。ただし、けが等やむをえない場合、決勝レースの40分前までに本部に連絡すること。
- ③男女各2人で編成され走順は自由とする。
- ④バトンは競技場備え付けのものを使用する。
- ⑤リレー競走におけるテイク・オーバーゾーンは基準点から手前20mから後ろ10mの合計30mとする。テイク・オーバーゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- ⑥マーカーは各チームで用意する。各走者が使用できるマーカーは1つとする。レース後は次走者のつけたマーカーを必ずはずすこと。
- ⑦各走者は危険防止のため、走り終わってから自分のレーンを走り、他のレーンに入らないこと。レース後は審判の指示に従い退場すること。

(4) コンバインド競技

- ①コンバインド競技Aは80mハードル走と走高跳の2種目の合計得点とする。

ア 80mハードル走

- (ア) スタートから第1ハードルまでの距離は13mとする。
- (イ) ハードル間は7mとする。
- (ウ) 最終ハードルからゴールまでは11mとする。
- (エ) ハードルの高さ70cmで9台で行う。

イ 走高跳

- (ア) 走高跳（はさみ跳び）は、マットへの着地は足裏からとし、背、腰などからの着地は無効試技とする。
- (イ) 試技は1つの高さに対し2回までとする。
- (ウ) 走高跳のバーの上げ方は以下のとおりとする。

区分	練習	試 技						
男子	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	以後、3cm
女子	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	刻みで上げる。	

- ② コンバインド競技Bは走幅跳とジャベボール投げの2種目で合計得点とする。

ア 走幅跳

- A、Bピットに分かれて2回の試技を行う。

イ ジャベリックボール投

- (ア) 試技順に従って1回ずつ投げ、2回の試技を行う。
- (イ) 助走距離は15m以内とし、投げた後もスターティングラインを超えてはいけない。
- (ウ) 測定方法は器具が地面に最初に触れた時点から計測する。
- (エ) 競技会実施中に器具の破損等が確認された場合、審判員の判断により除去するものとする。
- (オ) 禁止事項として、羽を持つての投てきや回転投げを禁止する。

- ③ 得点
日本陸連が作成した得点表に基づき、コンバインドA・Bともに合計得点で順位を決定する。
(得点表は富山陸上競技協会ホームページ参照)
- ④ その他
コンバインド種目において、点数が同じだった場合は、抽選によって全国大会出場者を決定する。

12 大会申込みについて

(1) 提出物

- ①大会申込書(選手名簿、指導者名簿)
②各郡市予選会のプログラム
③予選会参加者数調査書
④参加料明細(参加料は、事前に振り込む。振込先は下記参照)
なお、同意書は大会が終わるまでチームで保管する。

(2) 提出期限

- ①は令和元年6月14日(金)までにデータで提出すること。申込データの様式は6月上旬に、富山陸上競技協会ホームページにアップする。

申込先 : E-mail : shougakuseirikujo@yahoo.co.jp

大会申込書の郡市陸協会長印のあるものについては、大会当日(6月30日)に提出する。
②、③、④も大会当日に受付に提出する。

(3) 参加料 1人700円

振込先 北陸銀行 店番号106 県庁内支店 普通口座6010658
一般財団法人 富山陸上競技協会普及部2

(4) 問い合わせ先

〒939-0992 富山市新庄1-6-30
富山市立新庄小学校 Tel 076(432)2773 FAX 076(432)2784
富山陸上競技協会 普及部 古木 大介

E-mail : shougakuseirikujo@yahoo.co.jp

13 表彰 各種目3位入賞者には、賞状とメダル、4~8位入賞者には賞状を授与する。

14 その他

- (1) ナンバーカードは、大会当日受付にて各郡市選手団に配付する。
(2) 郡市予選会開催に10,000円の補助金を支給する。
(3) 参加児童の傷害保険は主催者で加入する。
(4) 当日、弁当が必要と思われる場合は各自で用意する。
(5) 競技日程は大会前に「富山陸上競技協会」ホームページに掲載する予定。
(6) 保護者の駐車場は、必ず指定された場所を利用する。

15 全国大会について

- (1) 出場資格 県大会における下記種目の男女優勝者
5・6年生100m
コンバインドA(80mハードル、走高跳)
コンバインドB(走幅跳、ジャベボール投)
男女混合4×100mリレー(県大会と同一メンバーの6名)
- (2) 期 日 令和元年8月9日(金)10日(土) 1泊2日(10日が本大会)
- (3) 場 所 日産スタジアム
- (4) 選手団 出場資格を得た選手14名及び総監督を含む指導者3名の計17名
- (5) 服 装 富山県代表として同一ユニフォームの着用とする。(ユニフォームは貸与)
- (5) 宿 泊 各県選手団は大会本部が指定する宿舎に宿泊する。
- (6) 経 費 選手団の宿泊費・交通費(日本陸上競技連盟の規定による実費)は、日本陸上競技連盟が負担する。
- (7) 合宿等 全国大会出場者を対象とした合同合宿(1泊2日)を総合体育センターにて行う予定。そのほかに練習会を数回行う。詳細は後日案内する。
- (8) 説明会 県大会終了後、出場資格を得た選手及び指導者、保護者を対象として全国大会についての説明会を行う。